

JICAの交通安全への取り組み



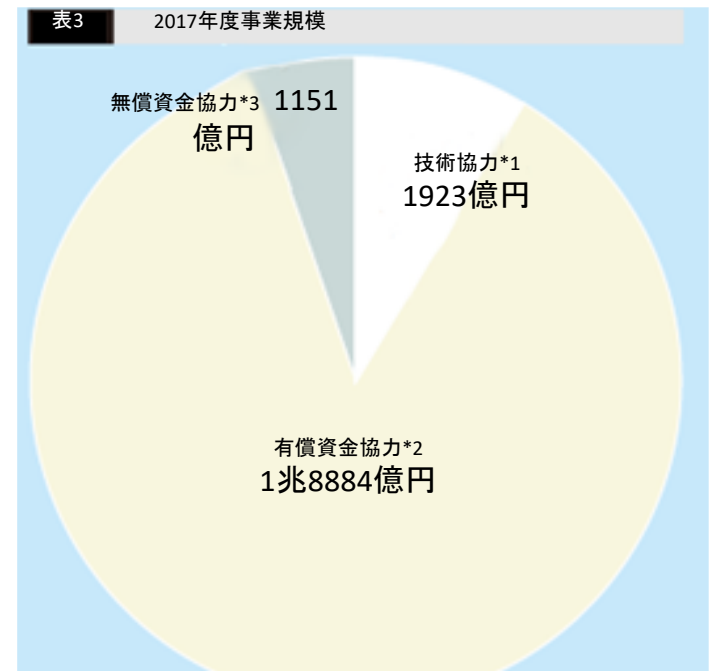
2019年10月25日
独立行政法人国際協力機構
小泉 幸弘

JICAの概要

- ✓ JICAは日本のODAを所轄する独立行政法人
「信頼で世界をつなぐ」
- ✓ 主要な事業は (1) 技術協力、(2)有償資金協力、
(3)無償資金協力の3スキーム



http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12322327.pdf



交通安全分野における主要な海外協力事業 ～協力の3分野～

道路、交差点改良等
ハード整備

有償・無償資金協力



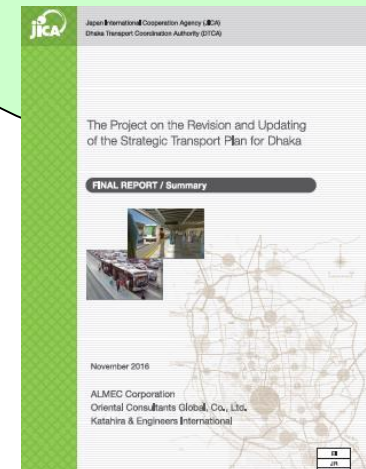
人材育成、法規・規則整備

技術協力

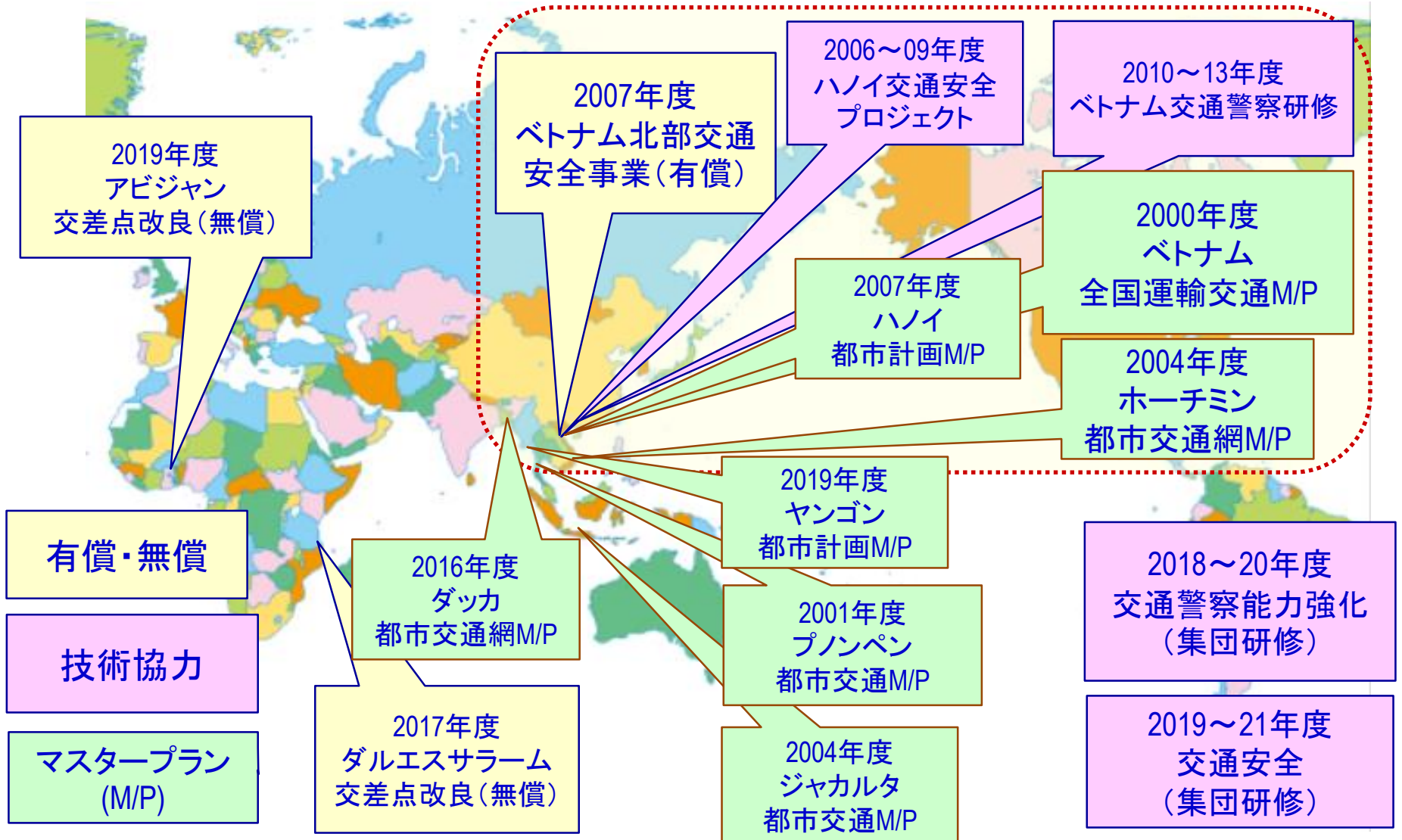


包括的アプローチ

マスタープラン(M/P)



交通安全分野における主要な協力事業



(ケース1) ダルエスサラーム 交差点改良事業 (無償)

贈与契約調印日: 2013年06月、2014年07月、
2015年03月

総額: 51億9500万円(≒4800万米ドル)

プロジェクト実施地域: ダルエスサラーム

プロジェクト要素:

- タザラ(Tazara)交差点の高架建設
- 走行レーン、道路・路面標識の改良
- 信号・街灯設置



(ケース2) ベトナム北部国道交通安全強化事業 (有償)

貸付契約調印日: 2007年03月

総額: 65億5700万円(≒6000万米ドル)

プロジェクト実施地域: ベトナム北部(国道3号・5号・10号・18号)

プロジェクト要素:

- 交通安全設備整備(信号、歩道橋、二輪車用横断橋、ガードレール等)
- キャンペーン、教育等およびトレーニング用機材調達
- 法執行およびトレーニング用機材調達



<https://www.jica.go.jp/oda/project/VNXIV-7/index.html>

(ケース3) ハノイ交通安全改善プロジェクト (技術協力)

事業実施期間： 2006年07月～2009年03月

プロジェクト実施地域： ハノイ都市部(ベトナム)

プロジェクト実施目的： 交通安全対策の改善

主要活動：

- 交通安全対策の企画・実施・評価方法の確立
- 交通警察における法執行能力の向上
- 交通安全委員会の教育・啓蒙能力の向上



(ケース4) プノンペン首都圏 都市交通マスタープラン

第一部 現状

第7章 交通運用・管理

第三部 都市運輸計画

第16章 交通運用計画

16.2 交通エンジニアリング対策

16.3 駐車設備

16.4 交通安全教育

16.5 交通法執行

16.6 段階整備計画

第18章 制度・能力育成計画

第20章 交通キャンペーンと社会実験

20.1 交通キャンペーン

20.1.1 交通安全キャンペーンの概要

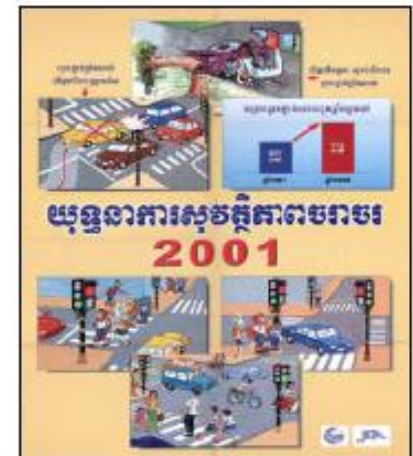
20.1.2 交通安全キャンペーンの主要活動

20.1.3 影響評価

20.1.4 将来的予測

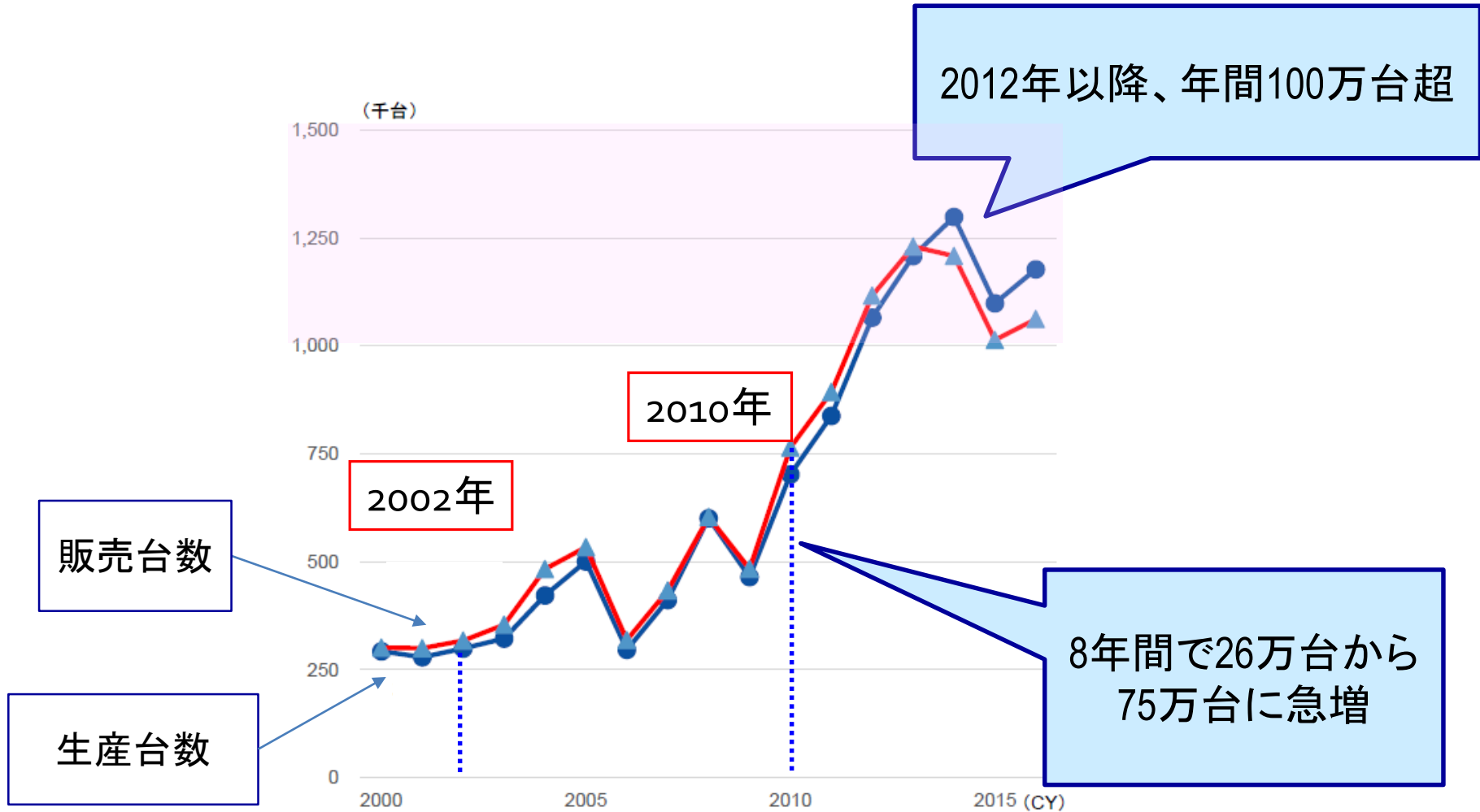


交通安全キャンペーン



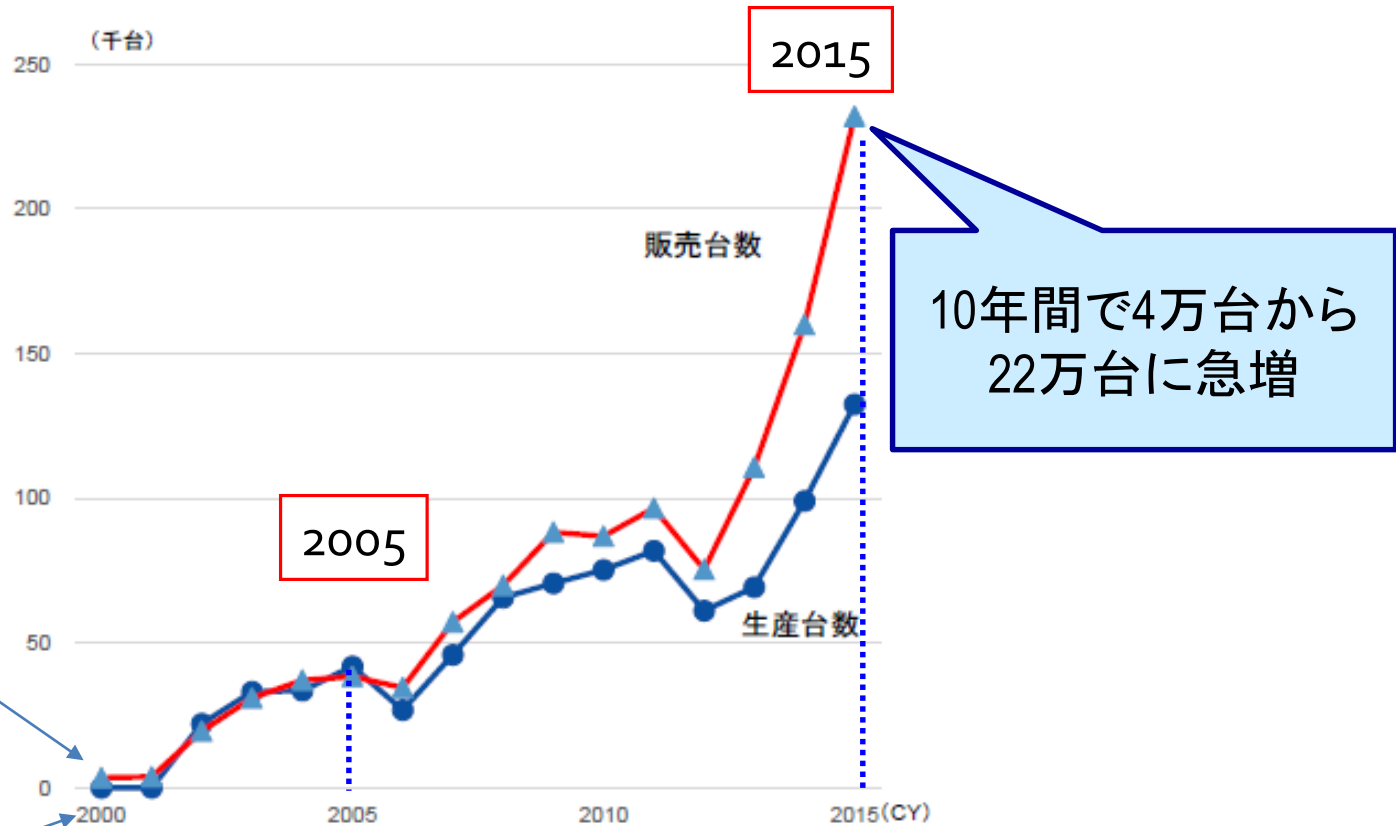
交通安全キャンペーンポスター

「I」国における急激なモータリゼーション



GAIKINDO 資料よりみずほ銀行産業調査部作成

「V」国における急激なモータリゼーション



GAIKINDO 資料よりみずほ銀行産業調査部作成

販売台数

生産台数

議論すべき項目

SDGターゲット3.6(*)の実現に向けて

(*)2020年までに交通事故に由来する世界的な死傷者数を半減

- 発展途上国における急激なモータリゼーションの進展にいかに対処すべきか？
- 交通安全対策における最適な施策の組み合わせはどのようなものがあるか？
- イノベーション技術やAIは問題を解決できるか？

ご清聴ありがとうございました。

